

文化伝承のまち。

まちが学び舎。

# 博多本

博多の魅力  
発信会議認定

寺町文化を学ぶ。

博多っ子、人情。



Beautiful city HAKATA Japan

## 博多の寺社町へと導くウェルカムゲート

はかたせんねんのもん

# 博多千年門



【表の扁額】  
太宰府天満宮宮司(建設当時)  
西高辻信良氏による揮毫



【見返りの扁額】  
径山萬壽寺住職  
戒興氏による揮毫



千年門をくぐると、情緒豊かな歩道へと続く



欄間に彫り込まれた博多織の献上柄



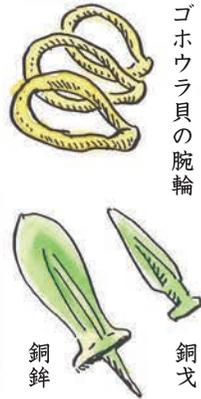
所在地はMAP(P29)参照



# 博多ものがたり

作・画 長谷川法世

古代から  
平安時代中頃まで



ゴホウラ貝の腕輪

銅鏃 銅戈



博多は  
大昔から  
中国大陸や  
朝鮮半島と  
貿易しよっ  
たとよ



これが  
米かあ  
うまか  
うまか  
！



遣唐使船



鴻臚館

遣唐使の一行は平安京を出発し、瀬波から遣唐使船に乗り、瀬戸内海を通過して博多に上陸しました。鴻臚館や大宰府で休んだあと、唐の国へ出発したのです。

## 博多を訪れた人たち



おわたものたびと  
大伴旅人  
やまのつのおくら  
山上憶良  
げんぼう  
玄昉  
がんしん  
鑑真  
きしょう  
喜娘  
ふじわらのきよかわ  
藤原清河  
きびのまきび  
吉備真備  
さいしやう  
最澄  
くわいかい  
空海  
えんちん  
円珍  
えんにん  
円仁  
たかおか  
高岳親王  
すがわらのみちさね  
菅原道真



1 どうして博多？  
なして  
(何故)  
博多や？  
理由は  
いろいろ  
あるとよ



2 鳥が羽根ば  
広げた形で  
羽形とか、  
泊瀉とか  
羽片とか  
葉形とか



3 天平宝字3年  
(759年)の  
続日本紀に  
「博多大津」て  
書いてあるとが  
一番古か記録



4 海や土地が  
博多で  
人やら物が  
多かけん  
博多とも  
いうとよ

平清盛が袖の湊ばつくれたとぜ

平清盛

袖の形に似ておるから袖の湊じゃ

貿易を盛んにするぞ



宋人百堂

博多には大唐街があったと

いまでいうたら中華街ね

網首(宋商人) 謝国明

聖一国師さまのために承天寺を建立しよう

博多の悪疫を退散させよう

聖一国師

宋の国からおもどりの聖一国師さま、私の店でお休みなされ

日本で最初に饅頭の製法を教えましよう店名はとらやとするがよい

うどん・そばも聖一国師さんのおかげです

博多山笠の起源

# 平安時代末から鎌倉時代はじめまで

栄西

宋から持ち帰った種で茶を栽培し、日本中に広めよう

栄西さんは博多に日本最初の禅寺・聖福寺を、京に建仁寺を造立『興禅護国論』『喫茶養生記』を著しました



博多松囃子

博多松囃子が1179年、博多祇園山笠は1241年がはじまりてよ



博多祇園山笠

満田弥三右衛門

国師さまと宋へ渡って博多織のもとになる技を習うて来たぞ

なんや  
なんや?  
なんや?!

蒙古襲来よ  
博多の町が  
焼けてしまう

1274年と1281年、  
フビライ・ハンの  
軍船が攻めてきました

### 元寇防塁

あれだけ  
戦うたに  
こんだけの  
ほうびか  
けちかーっ

鎌倉幕府は  
けちじゃ!

うーむ  
みんな  
不服そう  
じゃのう

### 鎮西探題

九州の役所が  
大宰府から  
博多へ移った  
とかあ

元寇のあと  
九州の侍が  
不満ば  
もったけん、  
博多に探題ば  
おいたと

### 鎌倉時代中ごろから 室町・戦国時代まで

博多はこの  
少弐氏のもの

大内氏の  
ものじゃ

みんな博多の  
貿易力が  
ほしかった

大友宗麟を  
九州探題に  
任命する

將軍 足利

元から明に  
かわると  
日明貿易が  
さかんに  
おこなわれ  
ました

二枚の紙ば  
重ねといて  
ハンコばついたら  
勘合符ば  
持つとくが  
正式な  
貿易船たい

### 勘合符

あつそれ  
古いけん  
使えんよ

おさめる  
のじゃ

許さーん!

いろいろな  
豪族

博多は何度も  
焼きました

寧波



# 桃山時代

1587年  
豊臣秀吉は博多商人たちの願いを聞きいれ、戦乱で焼け野原となった博多を復興させました



博多の者の気持ちです  
どうぞ

秀吉

この銀一枚だけもらおう  
残りには復興に使うがよかるう

五人の町割奉行はそうそうたるメンバーよ  
石田三成  
滝川雄利  
長束正家  
山崎片家  
小西行長

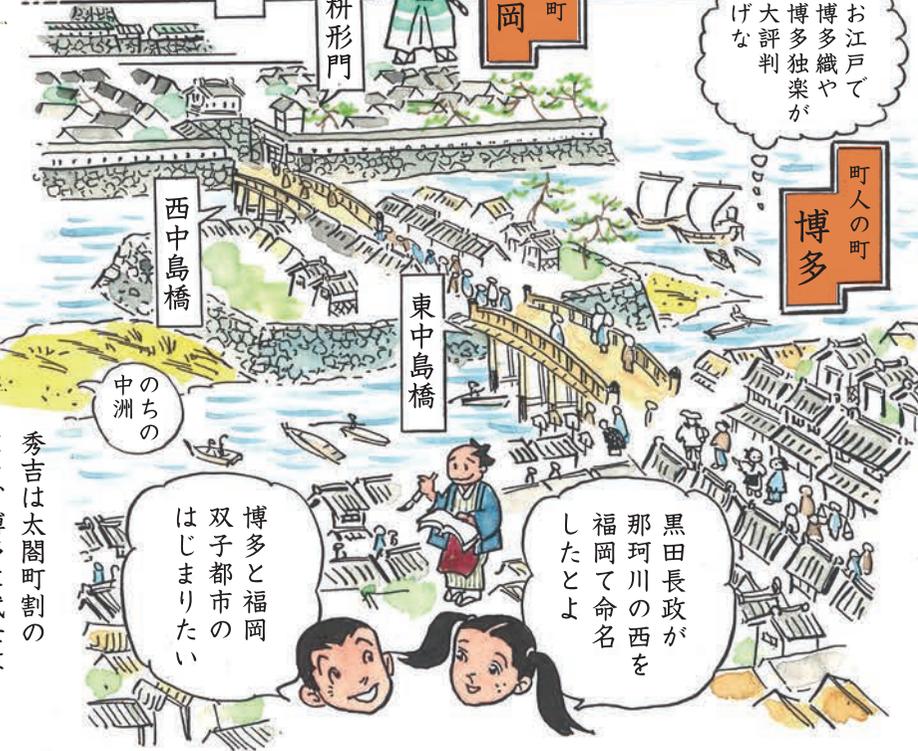
神屋宗湛

福岡城

武士の町  
福岡

お江戸で博多織や博多独楽が大評判

町人の町  
博多



東中島橋

柁形門

西中島橋

のちの中洲

黒田長政が那珂川の西を福岡で命名したとよ

博多と福岡  
双子都市のはじまりたい

秀吉は太閤町割のとき、博多に武士は住んではいけないと定め、博多は町人だけの町になりました

# 明治時代

市議会で  
もめぐ  
が...



福岡藩のご恩を  
忘れたかっ  
福岡市じゃ!

市名は  
博多市  
ですたい

福岡市に決定  
かわりに  
鉄道の駅名を  
博多駅とする

議長



福岡はどこ?  
福岡はどこ?  
福岡でここが博多

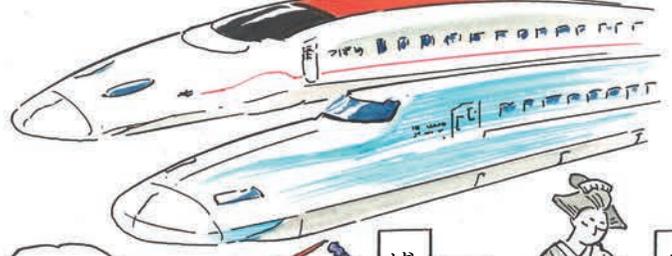
博多駅

1972年  
福岡市は  
政令指定都市  
になりました

博多と  
福岡は  
どちらも  
おなじ!

川ば  
はさんで  
仲があ(那珂川)  
良か♡

博多仁  
和加



博多織

博多人形

博多曲物

博多独楽

博多張子

九州一の都会  
ばってん、  
いまも  
歴史と伝統が  
生きています



# 博多 寺社 はじまり

博多祇園山笠  
これがなくては  
はじめられない。



【櫛田神社 くしだじんじゃ】  
757年創建の博多の氏神・総鎮守。博多祇園山笠の他、10月の博多おくんちなどの祭事も。境内には「櫛田の銀杏」が葉を繁らせ、その根元には2点の蒙古礎石がある。

「櫛田神社」は、博多の総鎮守として「お櫛田さん」の愛称で広く市民から親しまれている神社です。博多のまちのシンボルであり、博多祇園山笠の舞台でもあります。毎年7月1日から15日にかけて開催されるこの祭りは770年以上の伝統を誇り、「山笠があるけん博多たい！」と大切にされ、地元・博多にとってなくてはならない存在。とくに博多の夏はこの祭りからはじまる、といっても過言ではありません。



博多の  
コレがないと締まらない!

## 博多祝い唄

祝いの席や祭り事、物事の節目にかかせない博多の祝い唄。

祝いめでたの若松さまよ

若松さまよ

枝も栄ゆりや葉も茂る

※エイショウエ エイショウエ ショウエイ

ショウエイ ショングネ アレワイサソ

エサソエ ショングネ… (つづく)

日本のはじめて。

## 日本最初の禅寺



【聖福寺 しょうふくじ】  
1195年、栄西禅師が開山。山門には後鳥羽上皇の勅額がある。江戸末期の徳庵和尚は殊に禅画で有名。臨済宗妙心寺派。  
※平成24年9月、仏殿に金色の丈六三世仏が安座。



【承天寺 じょうてんじ】  
開山・聖一国師が施餓鬼棚に乗り、棒で担がせて祈禱水をまいて廻り、病魔を退散させたことが山笠のはじまり。境内には「うどん・そば発祥の地碑」に並び、饅頭、博多織発祥を示す碑も並ぶ。臨済宗東福寺派。  
※開門は8時～17時

うどんも饅頭も  
みんなここから

博多は古代から中国大陸や朝鮮との交流を保ちながら、時代時代で多くの先端文化を取り入れ、日本文化の発展に寄与してきました。その中心的な役割を担ったのが、今も博多に残る寺社の数々です。とくに弘法大師最初の建立寺「東長寺」や、日本最初の禅寺「聖福寺」、さらにうどん・そば・博多織など、博多文化発祥の地「承天寺」と、長い歴史はもちろん、その縁起の意義深さが重要視されています。あふれるほどの「日本のはじめ」で「物語は、古都・京都にも負けない博多の歴史の古さを伝えるているのです。



ういろう伝来の地  
【妙楽寺 みょうらくじ】  
「外郎」はもともと菓子ではなく万能薬。それを当寺に伝えた「陳外郎宗奇」の名から、菓子名として伝わったという。



日本初の住吉宮  
【筑前國一之宮住吉神社 すみよしじんじゃ】  
全国約2000社の住吉神社の始源。開運除災・航海安全・船舶守護の神として崇拝されてきた神社。



【東長寺 とうちょうじ】  
2011年落成の「五重塔」をはじめ、日本最大級の木造座像「福岡大仏」など見どころ多数。真言宗の別格本山。

空海、最初の寺





## 禅茶のお稽古処!?

【圓覚寺 えんがくじ】

千利休の茶道の心得を記した唯一の指南書「南方(なんぼう)録」を所蔵。今でもその稽古が週に3回開かれる。



芸能横丁

芸人が住んだ

【叶院(普賢堂) かもういん(ふげんどう)】

夏には素焼きの皿に揺らぐ炎が、古い建物の普賢堂に溶け込み幻想的な空間を創りだす「千灯明」が行われる。普賢堂のあるこの通りは、昔は「芸能横丁」と呼ばれるほど多くの芸能人が住んでいたといわれる。



息災を願って

子どもの

【萬四郎神社 まんじろうじんじゃ】

密貿易の罪で一族郎党が処刑された、最後の博多豪商「伊藤小左衛門」。その三男の「小四郎」と四男の「萬之助」が祀られたことから、「子供の息災」「商売の神様」として信仰を集める。



## 霊夢により、開基

【善導寺 ぜんどうじ】

開山・鎮西上人が見た霊夢(=中国浄土門の開祖・善導大師の「今博多に降り立つ。迎えに来るべし」とのお告げ)により、発見された大師の仏像を祀る寺。



## “仏花”咲く、花の寺

【順心寺 じゅんしんじ】

秋には彼岸花・曼珠沙華、春にはボケ・貝母(編笠百合)など、手入れの行き届いた境内に咲く草花や植木はみごと。



## 遊女の墓に蓮花の伝説

【萬行寺 まんぎょうじ】

遊女・明月(往生譚の主人公)の墓に、初七日に蓮花が咲いたという伝説が残る。1529年建立、浄土真宗本願寺派。



## 人形供養の寺

【祥勝院 しょうしょういん】

博多人形創始者から四代目の正木宗七作の「延命地藏像」がここで発掘されたため、毎年12月には人形供養が行われる。



## 供物は“こんにやく”!?

【海元寺 かいげんじ】

1・8月には閻魔祭が開催され、奪衣婆の像にこんにやくをお供えすれば病氣治癒の御利益があるという。



志士が眠る

乙丑の獄に散った

【節信院 せっしんいん】

聖福寺の塔頭寺院。福岡藩の勤皇派の中心的な立場にあり、世に言う「乙丑の獄」に散った加藤司書の菩提寺。臨済宗妙心寺派。

逸話で覚える  
寺めぐり。

長い歴史の中で人々により伝えられて来た寺の縁起には、さまざまな逸話が残されています。人魚伝説で有名な「龍宮寺」や、地獄の閻魔王に由来のある「海元寺」をはじめ、昔「芸能横丁」と呼ばれていた普賢堂のある通りに建つ「叶院」など、あっと驚くような小話・エピソードに出会うことも多々。これも博多の寺社めぐりの楽しみのひとつです。

人魚の骨が!?

【龍宮寺 りゅうぐうじ】

1222年、龍宮からやってきた人魚が博多の海に流れ着いた後、この寺に埋葬されたという伝説が残る。当時から伝わるというその骨と掛軸が今も境内に。



## 各寺社のお問い合わせ先(五十音順)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ・圓覚寺 ☎092-291-3988  | ・住吉神社 ☎092-291-2670 |
| ・海元寺 ☎092-291-4520  | ・節信院 ☎092-281-4182  |
| ・叶院 ☎092-281-6096   | ・善導寺 ☎092-291-0475  |
| ・櫛田神社 ☎092-291-2951 | ・東長寺 ☎092-291-4459  |
| ・順心寺 ☎092-291-6407  | ・萬行寺 ☎092-291-1556  |
| ・祥勝院 ☎092-431-3595  | ・妙楽寺 ☎092-281-4269  |
| ・承天寺 ☎092-431-3570  | ・龍宮寺 ☎092-291-1003  |
| ・聖福寺 ☎092-291-0775  |                     |

# 温故知新の 伝統工芸。

## 博多織

770余年の歴史を誇る、日本三大帯のひとつ。締めやすいのが特徴で、独鈷と華皿をモチーフにした「献上博多」は博多織のシンボルです。



新

献上博多の柄を新しいファッション感覚にと、多彩な現代のアイテムに再生した商品も。



ぼっぼ膳とは子どもの「お膳すわりの祝い」が行われる際の膳。



## 博多曲物

杉や松の板に熱を加えて曲げ、椀の皮で綴じて作ります。おひつや弁当箱の他、博多ならではの「ぼっぼ膳」など有名。

新



CDケースなど、新感覚のアイテムも登場。

## 博多張子

手漉き和紙や新聞紙、布糊を材料とし、手描きで丹念に彩色する伝統的な博多の郷土玩具。千支にちなんだ愛らしい動物など、多彩。



## 博多おきあげ

博多の伝統工芸「おきあげ(押絵)」は、厚紙を切り抜き、綿をのせて布で包み、貼り合わせて作ります。豊かな表情の人物などは、まるで絵画から飛び出したかのように。



新



## 博多鉾

江戸時代、博多の刀鍛冶師・安河内卯助が「唐鉾(約700年前に伝来)」の製作に取り組み、形づくったのが「博多鉾」の始まり。

博多鉾の職人は現在、高柳晴一さんただひとり。今では2年待ち覚悟の名品です。客の様々な要望に応える職人魂で、こんなペーパーナイフ(写真右)のリクエストにも応えてくれたり(非売品)。

## 博多独楽

江戸時代、木台に鉄芯を打ち込んだ心棒を持つ博多独楽が作られ、日本の曲芸独楽のルーツに。その日本唯一の家元として480年の歴史と伝統を守るのが、博多独楽師・筑紫珠楽さんです。写真は、絵筆で自由な塗りも可能な「白木独楽」。



## 博多人形

福岡の伝統工芸品の代表格。1600年、福岡築城の際に瓦職人・正木宗七が黒田長政に献上した陶製人形がはじまりとされます。明治時代、国際的な博覧会で高い評価を受け、日本を代表する人形へと発展しました。

新



「博多美人」の他、能や歌舞伎、毎年の方支人形まで、そのモチーフは幅広い。



# 一服

まち角の



### 【川端ぜんざい広場】

博多祇園山笠・八幡山笠が1年中飾られる上川端商店街の広場。週末にはぜんざいをぜひ!

☎092-281-6223



### 【櫛田の焼きもち】

創業70余年。櫛田神社の境内・南門にある「櫛田茶屋」で、名物・焼きもちをどうぞ。

☎092-271-7618



### 【喫茶「珈也」】

はかた伝統芸芸館1階にあるゆったりとくつろげる喫茶。オーガニックコーヒーや和風スイーツが楽しめる。

☎092-409-5450

# みやげ

博多の



### 【博多旧市街サブレ】

軽やかに香ばしく焼き上げたサクサク食感のサブレは、博多旧市街の石畳を彷彿とさせる博多の新しいお土産菓子。

☎0120-222-541



### 【博多よかいも とっとと】

博多弁が商品名になった如水庵人気のお土産菓子。九州産のさつまいもを使った焼き芋みたいなお菓子。

☎0120-39-0052



### 【山笠用品 ハンダ】

博多でも希有な、博多祇園山笠用品専門ショップ。法被や手拭い、グッズがズラリ!

☎092-263-1457

# 遊び場

まちの



### 【ベイサイドプレイス博多】

博多港を望むグルメ・海産物・温泉など充実のエンターテインメント施設。

☎092-281-7701



### 【福岡アンパンマンこどもミュージアムinモール】

九州唯一のアンパンマンこどもミュージアム。1日4回あるステージが大人気。ここにしかないグッズやグルメもいっぱい!

☎092-291-8855



### 【つばめの杜ひろば】

「JR博多シティ」の屋上庭園。旅の安全を祈願する「鉄道神社」や街が一望できる「展望テラス」等がある。

☎092-431-8484

博多の観光をもっと楽しもう!



### 【ハカタ・リバイバル・プラン】

電柱に博多の歴史・逸話を残す『電柱歴史案内2000年本プロジェクト』など、博多の“まち学”案内所。

☎092-281-4008



### 【Fukuoka Walks】

英語ガイドによる外国人向けウォーキングツアー、サイクリングツアー、着物体験など。日本の方も参加OKです!

☎080-4310-4173



### 【博多ガイドの会】

歴史や祭り、伝統について学び、魅力ある博多をおもてなしの心で案内する観光ボランティアガイド。

☎092-419-1012 (区企画振興課)

# 博多まち歩き バイブル選。

博多のまち歩きをもっと楽しく、もっと快適に。知っておきたい!博多の観光に役立つバイブル集。

# 案内人

博多の



### 【「博多町家」ふるさと館】

古き良き時代の暮らしと文化や祭りを紹介。伝統工芸の実演の他、体験も出来る。博多みやげも充実。

☎092-281-7761



### 【はかた伝統芸芸館】

博多織や博多人形を中心に博多の伝統工芸品を展示。博多織や博多人形など土産品の販売、喫茶コーナーもあり。

☎092-409-5450

# 足

博多の



### 【プレミアム・タクシー】

運賃料金は小型で、専属ドライバーによるワンランク上のサービスを目指すタクシー。

☎092-434-5100 (福岡市タクシー協会)



### 【博多人力屋】

博多のまちを人力車で案内! コースも多彩(15分2000円〜)。夜ツアーもあり。

☎092-263-5720

# 博多の歴史に人あり。

## 名僧ここに在り

栄西禪師、空海、聖一を輸入。真言宗の開国師。古来より博多で活躍した名僧は、僧侶として優れ、博多でや外交、文化など多方面に活躍したといえます。栄西禪師は常に宋の商人と関わりを持ち、種々の大陸文化



聖福寺所蔵の「栄西禪師像」

【栄西禪師 ようさいぜんし】鎌倉時代の日本臨済宗の開祖。二度渡宋し、1195年に我が国最初の禅寺「聖福寺」を博多に建立。



【空海 くわい】弘法大師の諡号で知られる真言宗の開祖。嵯峨天皇・橘逸勢と共に三筆のひとり。

東長寺所蔵の「弘法大師(空海)像」



【円爾弁円(聖一) せんねんべん(しょういちくし)】承天寺の開祖。豪商・謝国明と出会い、多大な支援を受ける。博多祇園山笠の生みの親。

承天寺所蔵の「聖一(国師)像」

## 芸人魂



川上音二郎 ゆかりの地

「芸どころ、博多」を象徴するかのようにつ九州最大級の演劇専用劇場「博多座」。その道向い、川端商店街入口に鎮座するのが、「博多の芸人」の筆頭株、川上音二郎像です。当時の世相を風刺

する「オッペケペー節」で一世を風靡した興行師であり、新派劇の創始者でもありました。過激な言動に走りしばしば投獄されましたが、のちにほぼヨーロッパ全土を巡業したという、博多が誇る奇才なのです。



川上音二郎像

川上音二郎

### ゆかりの地



鳴井宗室の墓所「崇福寺」

## 博多豪商三傑

博多には戦国時代から江戸時代にかけて活躍した豪商がいます。とくに三傑と呼ばれるのが、鳴井宗室、神屋宗湛、大賀宗九。宗室は日朝貿易で巨万の富を築き、宗湛とともに博多の再興と

福岡城の築城に尽力。「17カ条の家訓」は商人の家訓として有名なです。一方、大賀宗九は豊後大友氏下の武士でしたが、後に黒田長政に気に入られ黒田家御用商人として活躍しました。



神屋宗湛の墓所「妙楽寺」

ゆかりの地 神屋宗湛

### ゆかりの地



大賀宗九父子の墓所「幻住庵」

ゆかりの地 大賀宗九

### ゆかりの地



綱敷天満宮

博多どんたくの源流「博多松囃子」でも稚児舞が奉納される

## 武将・学者の社



豊国神社

ゆかりの地

豊臣秀吉

復興の際の区画整理「太閤の町割り」や「楽市楽座」の掟など、秀吉の遺徳は大きい

「綱敷天満宮」の由来 また「豊国神社」は豊臣は、道真公が大宰権帥 秀吉を祭る神社。戦火に左遷されて赴任の途で焼け野原となった博多、袖の湊に上陸時、貴人を迎える敷物を持つていなかった土地に住民達が、綱を丸くして敷物を作り菅公を出迎えたことにあります。残っています。

発祥地！

## 麺文化

聖一國師が持ち帰った宋の製粉技術により、博多はうどん・そばの発祥の地とされま  
す。最近では小麦胚芽や食物  
繊維(フスマ)を含んだ、古来  
のうどんを再現したうどん  
も登場。また、麺文化発祥の地  
で花開いた「博多ラーメン」  
は、今では全国区の人気に。



作法いろいろ

## 「二大」鍋

博多の鍋の代表「水たき」。  
鶏がらをじっくり煮込ん  
で作られた白濁の鶏ガラ  
スープは、鍋を食べる前に  
いただくのがルール。ま  
た、全国的に有名になった  
「もつ鍋」も福岡の郷土料  
理です。たっぷりのキャベ  
ツとニラ、シメのちゃんぼ  
んが一般的。



博多土産のエース

## 辛子明太子

スケソウダラの卵を唐辛子  
に漬け込み、じっくり熟成。  
お酒の肴に、またごはんにも  
合う逸品です。この名産  
品の生みの親は「味の明太  
子ふくや」創業者・川原俊夫  
氏。生まれ育った韓国の一メ  
ンタイ」を再現したのがは  
じまりです。



博多ごりよんさん伝

## がめ煮

鶏肉に里芋やゴボウ、レン  
コン、ニンジンなどを醤油  
で煮込んだ、博多の代表的  
な家庭料理です。筑前煮と  
呼ばず、博多ではあり合わ  
せのものを「何もかもがめ  
くりこんで」煮込むことか  
ら「がめ煮」に。



「博多ごりよんさん」(商家の奥さまの敬称)が再編集した「山笠直会料理」

# 博多の食文化、etc。

博多のソウルフード

## 屋台

福岡は日本最大の屋台のま  
ちであり、約100軒が市内  
に点在しています。その特徴  
は、ラーメン、焼き鳥、おでん  
などの定番から、天ぷら・フ  
レンチ・中華、バーまで、なん  
でもアリ!の多種多様なメ  
ニューにあります。



博多の台所

## 柳橋連合市場

「魚がおいしいまち」福岡  
で、料理人が通う博多の台  
所と呼ばれる「柳橋連合市  
場」。全長約100mアー  
ケードの通路を挟み、鮮魚  
店などおよそ40軒の小売店  
が並びます。福岡の魚のエ  
ース「ぶぐ」は、福(岡)＝ぶぐ、  
で「ふく」と呼ぶのが地元流。



博多の食文化 コラム

## 山笠、そして、水炊き。

受け継がれる「直会」の味

博多の総鎮守「櫛田神社」。そして、博多の味・水炊  
き。一見、なんの共通点もなさそうですが、櫛田神  
社に伝わる味、それが水炊きなのです。この出会い  
の場は「博多祇園山笠」の直会(なおりい)。直会と  
は、神事において神に供えたものと同様の御膳神  
酒などのお下がりをちようだいする行事のこと。  
櫛田神社の櫛田会館で開かれる博多祇園山笠振興  
会総会では、直会の定番は水炊きなのです。  
※櫛田神社の水炊きは、博多祇園山笠振興会総会  
で特別に食されるものです。

## 博多の気風と食文化

神社で四つ足を食することは御法度。そこで夏の  
山笠の間、男衆たちの体力を支えるために「鶏肉」  
が選ばれました。博多は、「ちやっちやくちやら、  
何でも」ざっくり手早くカンタンに、「が好まれる  
土地柄です。水炊きが選ばれたのも、そこに理由が  
あります。博多祇園山笠に関わる一切には、「縦社  
会」といわれる博多の縮図が顕現しますが、直会  
では各流(ながれ)を代表するその縦社会のトップ  
たちが、法被姿で七輪の上の鍋を囲  
み、今度は平たく横の結びつきを強  
めていきます。水炊きを囲んで、親  
が試され、教育がなされ、そして、親  
しくなっていく。博多の食文化とは  
「祭り」と切り離して語ることで  
きかないものなのです。



# 祭

# 四季を歩く、地元体験。

ユネスコ無形文化遺産

## 春

春の福岡・博多を代表する「博多どんたく港まつり」の起源である「博多松離子」。

福神流、恵比須流、大黒流の3福神が馬に乗り、子どもたちの言立てと笠鉦が続きます。稚児流は、少女たち「舞姫」と鼓や太鼓を叩く男の子たち「囃子方」に大人たちが付き添って町中を祝って回ります。

国重要無形民俗文化財



① 福神流、恵比須流、大黒流の三福神  
② 稚児流による風雅な舞

## 夏

博多の夏の風物詩は「博多祇園山笠」。博多の総鎮守、

櫛田神社の奉納行事で、重さ1トンにもなる昇き山笠を男衆が昇き、夜明けのまちを駆け抜ける様は、迫力満点の一言に尽きます。



クライマックスの追い山笠はその年の一番山が櫛田入りして始まる



## 秋

秋の博多では「博多秋博」と称し、歴史的建造物をライト

アップする「博多旧市街ライトアップウォーク」や博多のまちを灯明で照らす「博多灯明ウォッチング」など、多彩なイベントが開催されます。

① 博多旧市街ライトアップウォーク 千年煌夜 承天寺の石庭もライトアップで幻想的に  
② 博多灯明ウォッチング 博多のまち一帯が灯明の灯りで照らし出される



## 冬

博多の冬を彩る恒例行事は、商売繁盛のご利益

で知られる十日恵比須神社の「十日恵比須大祭」と、櫛田神社や東長寺で行われる厄除けの「節分祭」。毎年多くの人々が祈願に訪れます。



① 節分祭 櫛田神社では大きなおたふくが登場  
② 十日恵比須大祭 商売繁盛の縁起物がざらりと並ぶ



# 学

# 歩いて学ぶ、知的遊覧。

## 文学に観る。

文学や芸術の発展に寄与した人物とのかかわりも深い博多。博多人形師・小島与一の作品を基にした銅像、与謝野鉄幹や北原白秋などの歌人・詩人、福岡市生まれの文学者、原田種夫の碑などを見ることができます。

## 歴史に触れる。

さまざまな歴史を物語る記念碑や建造物が、多いのも博多の見どころ。最初に博多駅が建設された場所近くに立つ「九州鉄道発祥の地」の碑、明治時代の灯籠、室町時代に建てられた供養碑「濡衣塚」などがあります。

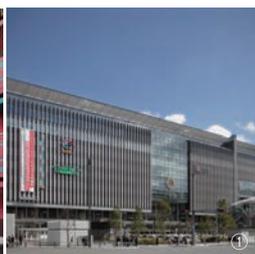
## アートに学ぶ。

キャナルシティ博多をはじめ、個性的な建築や現代アートが多彩なのも博多の魅力。建築家・磯崎新の設計した西日本シティ銀行本店と、JR博多シティ前には近代的なオブジェがあり、ひととき目を引きまします。

- ① 三人舞妓の像  
パリ万博銀賞の作品を基に、「ハカタ・ドール」の名が世界へ!
- ② 原田種夫文学碑  
「人間」と題された詩
- ③ 「五足の靴」文学碑  
紀行文「五足の靴」を記念



- ① 博多町家寄進高灯籠  
建造した商屋の家号がある
- ② 濡衣塚  
濡れ衣で殺された娘を供養
- ③ 「九州鉄道発祥の地」の碑  
明治22年の鉄道開通を記念



- ① JR博多シティ  
博多駅の新しい顔
- ② 西日本シティ銀行本店  
堂々とした存在感
- ③ キャナルシティ博多  
斬新さが異空間を演出

## ② 人力車 人力車で博多のまちを観光しませんか

博多の歴史ある寺社仏閣を“人力車”で巡るちょっと優雅な歴史の旅。貸切で、ご希望によりコースの設定も可能です。

集合場所 「博多町家」ふるさと館(博多区冷泉町6-10)  
開催日 毎日開催(事前に予約)  
受付時間 9:00~16:00  
参加料金 1台(2名) 30分 5,000円 ~ 60分 10,000円  
申込み 博多人力屋:092-263-5720 携帯:090-8836-9724  
URL <https://jinrikiya.com/>



## ③ 絵付け体験 博多人形

お好きな人形を選んで頂き、絵の具を使用して人形に色を付けていきます。作品はそのままお持ち帰りいただけます。

開催場所 田中勇氣博多人形工房(博多区上川端9-35 冷泉荘4階)  
開催日 木曜日~日曜日(事前に要確認)  
開催時間 10時~12時/13時~17時(最終受付16時)  
参加料金 体験時間 約1時間 人形 小:1,650円、大:2,200円  
申込み 080-1600-1042  
URL <http://hakataningyo.boo.jp/>



## ④ 着物着付け 着物を着て街に出よう

着付けやレンタル着物を行っています。着物を着て博多のまちを散策し、とっておきの思い出を作りませんか？

開催場所 古風古布<KOFUKOFU>(博多区冷泉町7-3-1)  
営業時間 10時~18時30分  
参加料金 着物レンタル着付け(小紋)一式 5,500円  
ゆかたレンタル着付け一式 3,300円  
申込み 092-261-2587  
URL <https://www.kofukofu-enishi.com>



## ⑤ お茶体験 おいしい日本茶いかがですか

創業300年、老舗のお茶屋で、日本茶の歴史や美味しいお茶の入れ方を学べます。

開催場所 光安青霞園茶舗(博多区中呉服町8-1)  
営業時間 10:00~17:00  
参加料金 煎茶体験 825円~(お茶菓子つき)  
抹茶体験 1,210円(お茶菓子つき)  
申込み TEL 092-291-0365  
URL <http://www.mitea.jp/>



# 博多旧市街

HAKATA OLD TOWN

# 「博多旧市街」 とは？

日本中世最大の貿易港湾都市・博多の中心として栄えた地域「博多旧市街(オールドタウン)」には、中世に由来する歴史・伝統・文化が数多く伝わっています。歴史ある寺社が連なる静寂な街並みや、活気溢れる商店街の散策、博多の伝統工芸や伝統芸能との触れ合い、祭り好きで知られる博多っ子の暮らしや文化を感じられる体験など、福岡の旅がより一層深まるエリアです。



散策コースやイベント情報など  
詳細はパンフレット・ホームページをチェック  
<https://yokanavi.com/> よかなび 博多旧市街 検索



## 「博多旧市街ならではの」 体験プログラムをご用意しております！！

※体験プログラムの実施場所はMAP(P27~P30)をご確認ください

### ① 「博多町家」ふるさと館

#### ●博多織の実演・体験(無料)

実演場所 「博多町家」ふるさと館(博多区冷泉町6-10)  
実演・体験時間 11時~13時/15時~17時



博多織

#### ●伝統工芸品 絵付け体験

毎日様々な伝統工芸を実演中。絵付け体験もできます。  
実演場所 「博多町家」ふるさと館 展示棟2階  
体験時間 10時~12時/14時~16時(各5名まで)  
博多人形(金・土・日・月曜日)  
博多張子(火曜日)博多独楽(水曜日)  
博多曲物(木曜日)



博多人形

博多張子

参加料金 材料費 1,500円(税込み)、別途入館料 200円  
申込み 092-281-7761

#### ●博多の寺社巡りツアー(無料・申し込み不要)

ふるさと館周辺の歴史ある寺社を巡ります。  
集合場所 「博多町家」ふるさと館  
所要時間 14:00~15:00  
まち歩きルート 櫛田神社~鹿島本館~龍宮寺~東長寺~妙楽寺  
URL <http://www.hakatomachiya.com/>



博多独楽

博多曲物

# 博多のまちをご案内 博多ガイドの会

## 博多ガイドの会とは

寺社など歴史・文化をはじめとした魅力あふれる博多旧市街をより詳しく紹介するため、伝統について学び、おもてなしの心で案内する観光ボランティアガイドです。

## ■ ガイドと行くまち歩きコース

文化発祥コース	博多昔話コース	祭・伝統工芸コース	寺社巡りコース
博多千年門 ↓ 承天寺 ↓ 妙楽寺 ↓ 円覚寺	東長寺 ↓ 龍宮寺 ↓ 萬行寺	櫛田神社 ↓ 「博多町家」ふるさと館 ↓ 高柳商店(博多鋳) ↓ はかた伝統工芸館	櫛田神社 ↓ 東長寺 ↓ 承天寺 ↓ 博多千年門

**所要時間:各コース2時間程度**

ガイド料:ガイド1名につき2,000円(お客様10名に対してガイド1名が目安)  
お申込み方法:実施日の7日前までにホームページもしくは電話、FAXにて。  
英語でのガイドも対応可能です。

## ■ 東長寺・博多千年門の無料ガイド

東長寺は毎日、博多千年門は土日祝日の10時~15時にガイドが常駐しています。東長寺では11時と14時から各回30分程度、博多千年門では13時30分から1時間程度、定時ツアーガイドも行っています。  
※いずれも夏期・冬期は休み



その他にも季節やお祭りなどに合わせた企画コースを市政だよりやホームページでご案内しています!

申込受付・お問い合わせ先

**博多区役所企画振興課(博多ガイドの会事務局)**

〒812-8512 福岡市博多区博多駅前2丁目9番3号 HP <http://hakatanomiryoku.com/guide>  
TEL 092-419-1012 FAX 092-434-0053 E-mail [t-shinko.HAWO@city.fukuoka.lg.jp](mailto:t-shinko.HAWO@city.fukuoka.lg.jp)



## ⑥ 伝統芸能鑑賞 博多の伝統文化に触れてみよう

博多の伝統芸能を身近に感じてみませんか?

博多芸妓による演舞やお座敷遊び体験の他、日本舞踊や民舞、博多独楽なども鑑賞できます。

開催場所 博多伝統芸能館(博多区冷泉町2-20)

開催日程 月4回程度(ホームページで確認してください)

参加料金 体験時間 約1時間 3,000円~

申込み 092-441-1118

URL <https://hakata-geinou.jp/>



## ⑦ 修行体験 禅寺で本格坐禅体験

本物の禅寺で「自分と向き合う」坐禅体験を行います。

あなたも多忙な日々から離れ、静かな禅寺で誰にも邪魔されない精神統一の時間を体験できます。

開催場所 妙楽寺(博多区御供所町13-6)

開催日 月曜日・日曜日(他の曜日はリクエストによる、事前に予約)

開催時間 17:00(他の時間はリクエストによる)

参加料金 体験時間1時間 2,500円

申込み 092-281-4269



## ⑧ お土産に最適! 老舗提灯店でオリジナル提灯をつくろう

自分の好きな字やイラストを提灯に絵付けします。

立てて飾れる提灯です。法被を着て、写真撮影もできます。

開催場所 門田提灯店(博多区上川端11-8)

開催日 月曜日~日曜日(事前に要確認)

開催時間 10:00~19:00(最終受付18:00)

参加料金 体験時間1時間 3,000円

申込み TEL 092-271-5766 / E-mail: [info@kadota-chouchin.com](mailto:info@kadota-chouchin.com)

URL <http://kadota-chouchin.com/>



## ⑨ 海元寺のヨガ体験

迫力満点の閻魔大王と観世音菩薩が鎮座する「海元寺」。

お寺という静かで特別な空間にお香の香りが漂い、リラックスした雰囲気のヨガを体験できます。

開催場所 海元寺(博多区中呉服町10-5)

開催日 第2、第4水曜日

開催時間 10:00~11:15

参加料金 3,600円(税別)

申込み <https://suito.inboundhub.jp/ja/experiences/17>





